

居住地域における相対所得が生活満足度に与える影響

水落正明

南山大学

要旨

本稿では、居住地域における相対的な所得が個人の生活満足度に与える影響について、三重県で行われた調査データを用いて分析を行った。小・中学校区を単位とした地域の所得水準を計算し、生活満足度に与える影響について推定した結果、男性については影響は観察されなかったが、女性については影響を与えていることが明らかになった。具体的には、女性は地域における相対的な所得が高い場合に生活満足度が高く、さらに地域の所得水準が高い場合にも生活満足度が高いことが明らかになった。限定された地域の分析結果であるが、今回の分析で得られた知見は、主観的幸福感の改善など地方自治体の今後取り組む施策にとって有効な判断材料の一つになると考えられる。

キーワード：生活満足度、相対所得、居住地域

JEL Classification: D60; D62; I30